



2013-2014年
RI会長 ロン・バートン
第2640地区ガバナー 久保治雄



海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第 1755 回例会

平成 25 年 7 月 29 日 (月)

12:30~ 海南商工会議所 4F

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「手に手つないで」

3. 出席報告

会員総数 52 名 出席者数 34 名
出席率 65.38% 前回修正出席率 73.08%

4. 会長スピーチ

毎日暑い日が続いているので、会員皆様におかれましては充分、水分補給を取り、寝不足のないように体の体調の管理をよろしくお願ひいたします。

さて、昨日、我が紀美野町において「がたろ」大作戦と称して貴志川をべっぴんさんにしようというイベントがあり出席してきました。このイベントの主催はリバーサイドフェスティバル実行委員会であり当日の参加者は 350 人以上あり川にゴミや鉄など玉葱用の網袋に入れてボートに積み込み、橋の下からクレーンで釣り上がる作業でした。参加者の皆さんには文句なく頑張ってくれたと思います。

また、メンバーの花田さんのヨットに乗せてもらいました。とても楽しいクルージングでした。とても充実した一日で、花田さん、お忙しい中、ありがとうございます御座いました。よろしければ、また、来年もよろしくお願ひします。

本日の卓話はチャーターメンバーで元会長の奥村さんです。よろしくお願ひします。

また、8月5日(月)7時よりガバナーの公式訪問と協議会になっていますので服装は会長、幹事、S A A はネクタイ、ブレザーでお願いします。なお、会員の皆様はクールビズですが、ブレザー着用でお願い致します。当日の例会終了時間は9時前後になりますので会員の皆様のご協力をお願いいたします。

会長 小椋 孝一 君



5. 幹事報告

○例会臨時変更のお知らせ

和歌山中RC 8月2日(金)→8月2日(金)

18:30~ マリーナシティー黒潮市場
(納涼家族会)

○休会のお知らせ

海南RC	7月31日(水)	8月14日(水)
和歌山RC	8月13日(火)	
粉河RC	8月14日(水)	
和歌山東南RC	8月14日(水)	
有田2000RC	8月14日(水)	
和歌山東RC	8月15日(木)	
海南西RC	8月15日(木)	
和歌山中RC	8月16日(金)	
和歌山南RC	8月16日(金)	



○8月のロータリーレート

1 \$ = 100 円

6. 会員卓話

○海南東ロータリーの38年

7月14日は海南東RCの創立記念日でございます。

先日、寺下プログラム委員長より電話がありまして創立当時の事を卓話してほしいとの事でございました。この話初めは宮田さんに相談したそうですが、宮田さん曰く、「わしや楠部さんはいつも話をしているから普段しやべらない奥村にやってもらえ」と云う事で私の方に廻って来たそうです。ロータリーに頼まれれば出来る事はNOとはいわないと云う不文律がある様ですので何とかやってみようと云う事になりました。と云つても、私は設立当時の事は、ほとんど知りませんが、記録をたどり、また、聞いている事を話させていただきます。

我がクラブは、海南RCの20年目に設立されました。玉置勇さんがガバナー特例代表となり、海南RCクラブメンバーであった冬十さん2世の吉田隆一さん、前窪工務店2世の前窪紀文さん、中常さん2世の中村隆俊さん、林 喜兵衛さんの息子さんの林 孝次郎

奥村 匡敏 君



四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：小椋 孝一 幹事：大谷 徹 S A A : 重光 孝義

さん達と海南青年会議所設立当時のメンバーでOBになっておられた玉置さん宮田さんがキーマンとなって苦心してメンバーを選び勧誘をされて25名をそろえられたそうです。聞いた話ですが、初めから「まとまり」を第一に考え、余り飛びぬけた方は選ばず、JCのメンバーを主体に後は電話帳を見て選び出したそうでございます。

当時はクラブ設立要件のメンバー数は25名でしたので、そろえるのに大変苦労され、その結果、7月の第一月曜に間にあわず第一例会が第二週になったと聞いて居ります。とにかく生みの苦労は大変で初代会長に前窪さんと吉田さんがゆずりあって最終にはエレベーターの中、2人でじやんけんをして決めたそうです。また、例会やクラブの運営も大変で、初代の前窪さんが幹事の田岡さんの診療室に毎日の様に通って打合せをしたそうでございます。発足当時のメンバーは最年長が坂上包装の坂上さんが52歳、最年少が鳶村さんの37歳で平均年齢が42歳であります。本当に若いメンバーでした。その為、例会の出席率が悪くいつもクラブの懸案事項でガバナーの公式訪問の際には指導されていた様です。また、発足当時のテリトリーは国鉄の線路東の海南地区、野上、美里地区となっていましたがそんなに厳しいものではなかったものです。R Iの加盟承認が1975年の8月7日に下り、認証状伝達式（チャーターナイト）が翌年5月16日に行われました。チャーターナイトは和歌山西RCと合同で行い、その下準備の為の会合が海南と松江とで交互であり、その帰りは何時も和歌山で飲み会でした。また、各地のチャーターナイトにそろって見学に行きました。そして、チャーターナイトは大成功に終り、これらの一連の行事により達成感と共にクラブのまとまり、親睦がより一層強くなったと思います。

私の初年度はプログラム委員長と云う事でしたが、



当時の奥村さん

当時、プログラム委員長は理事会メンバーではなくほとんど幹事さんと会長さんが考えてくださっていてあまり何もしないので一度理事会へ呼び出されました。その席でいろいろ言い訳をしますと「あまり泣き言ばかり云うな」と理事の宮田さんより怒られたのを覚えて居ります。しかし、ロータリーに対してなじめない人も居り、年度の後半には5人の退会者が出来ました。その内3人は互に話し合ってやめられたと云う事でクラブ内にグループが出来たら悪いと云うので一度に多数まとめて入会させない様に気を配って増強を行ったそうです。

2年目の会長さんには吉田さん、幹事は片山さんで

会長さんは仕事の都合で出張が多く例会の会長席は半分近く3代目の柳川さんがすわって代って会長スピーチを行いました。その年、私は会員増強委員長でした。当時の推薦から入会に至る迄非常に厳しいもので、7段階の手続きが必要で、とにかく推薦することを本人に知らしたらいかんと云う事で推薦された方を選考分類にかけ、理事会で承認を得て初めて本人の承諾をえると云う事で、その上でメンバー全員に公表され2名以上の反対がなければ入会されると云う事で、本当にむつかしいと感じましたが、そのわりに新入会員が多く増強には苦労がなかった様に思います。3年目の会長は柳川さん、幹事は宮田さんでございます。この年に東京で世界大会が有りまして20名以上のメンバーが参加しました。

私は3年目に初めて理事となり、社会奉仕委員長をやりました。266地区の地区協議会がロイヤルホテルであり、肥後橋からナンバのニュージャパン、懇親会などで親睦を図りました。社会奉仕の活動は、教育委員会に東山さんと作文を募集、小学5・6年を対象にコンクールを行いましたまた、福祉厚生課と寝たきり老人訪問なども行いました。当時の思い出はこのくらいにします。

話は変わりますが、今年の5月のIDMのテーマの中に「ロータリーに入って良かった事を話して下さい。」と云うのがありました。そこで、私が思っている良かった事を少し話させていただきたいと思います。誰でも入会して良かった事は、いろいろな業界の人と多くの人と知り合いになった事だと思います。私も入会させていただいて38年の間に150人以上の方とロータリーを通じてお知り合いになりました。もし、ロータリーに入ってなかったらこの方々とおそらく知りあう事はなかったと思います。知りあう事によって私の人生が豊かになり多くの事を教えていただきました。その影響は本当に大きなものであります。これはメンバー誰にも云える事ですが私が具体的に感じている事を少し話させていただきます。

半年程前に誤飲による肺炎をおこしました。高い熱が出ましたが、2~3日でなおりました。その事を岡田先生とゴルフに行く時車で話しましたらそれは気管にある肺との間の弁の筋肉が弱っているから起きるのだと教えられました。老人ホーム等でみんな一緒に歌をうたうのはその筋力を動かしてきたれる意味もあるのだと云われました。それを聞いてから、意識して歌をうたったり、これも宮田さんに誘われ四国八十八ヶ所まいりで覚えた般若心経を大きな声を出してとなえたりして筋肉をきたえて居ります。

聞くところによると老人の死亡の原因は肺炎が50%以上でありその内50%が誤飲によるものだと云う事です。岡田先生に教えていただいて私の寿命が5年は延びたなあと感謝しております。



林さんにも教えていただきました。林さんが会長の時、理事会話の中で、県立図書館の話がありました。それ以来図書館を利用して来ました。月に2回、1回に3~4冊の本を借りて来て読んで居ります。暇つしにもってこいでございます。これも考えますと17~18年間続いておりますので1500冊以上を利用させていただきました。ありがたい事でございます。

これらの事は些細な事であります、何といつて大きな事はロータリーに38年間在籍して毎週毎週例会へ出て「奉仕」を耳にして私の考え方たに影響がない方が不思議です。

どんな影響があったかを云いあらわす事が出来ませんが今ある私は大いに影響を受けていると思います。それも良い方向に影響を受けていると思います。

私がロータリーの奉仕の精神とはやさしく一言でいえば人に対する「思いやりの心」だと思って居ります。社会への「思いやりの心」だと理解して居ります。これからもこの「思いやりの心」を大切に会社に於いてすべての事において実施していきたいと思います。

7. 閉会点鐘

次回例会

第1756回例会 25年8月5日(月)

海南商工会議所 4F 19:00~

第2640地区 久保ガバナー公式訪問
クラブ協議会



ニコニコ・BOX

小椋 孝一君

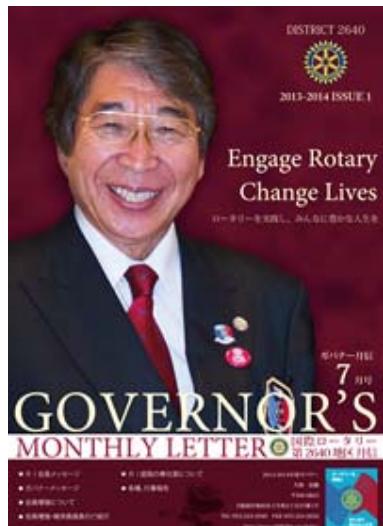
昨日、花田さんにお世話になりました。とても楽しかったです。有難うございました。

7月度 マンスリーレターから ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2640地区ガバナー
久保 治雄 氏

本年度国際ロータリーのテーマは、「ロータリーを実践し みんなに豊かな人生を」です。

ロータリーの基本は、解釈について疑義が生じた場合、これらの規定事項に関して英語版が正文となると明記されています。今年度のテーマの日本語訳は、意訳過ぎると言う言葉を耳にします。国際



協議会でもこのテーマ邦訳が話題となりました。どこに「みんなに豊かな」と言うセンテンスが有るのだ。「人生を変えよう」「生き方を変えよう」あるいは「ロータリーを変えよう」で良いのではないか。等など、多くの疑問が投げかけられました。

本年5月広島で開催されました世界平和フォーラムIN広島で、2013-14年度ロン・バートンRI会長のエイド役を務められました第2710地区2013-14年度沖田哲義ガバナーから送信されてきたメールをご紹介いたします。

5月16日、広島リーガロイヤルホテルで、広島安佐RCの例会が行われました。これには、ロン・バートンRI会長他多数のRI理事等が出席されました。私達夫婦は、ロンさん夫妻のエイドとして同人らの隣に座りました。この例会では、「ROTARY」の歌が合唱されました。このため、この歌の全ての英語の歌詞が記載された布製の幕が、会場正面に飾られていました。この歌詞には、当然のことながら、「He Profits Most Who Serves The Best」という文章が記載されていました。そこで、私は、例会が終わった直後、思い切ってロンさんをこの旗の前に誘い、このシェルトンの標語を指さして、次のように問いました。

「あなたのRIテーマについてお聞きしたいのです。あなたのテーマの『Engage Rotary』と、この『Serves The Best』は同じ（イクオール）ですか。また、『Change Lives』と、この『Profit Most』は同じ（イクオール）ですか。」すると、ロンさんは、「そのとおりだ（That's right）」と答えられたのです。そして、私達は、お互いに右手の親指を立てて、ニヤリと笑いました。

以上が、私とロン・バートンRI会長とのやり取りです。「He Profits Most Who Serves The Best」と本年度テーマ「ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES」がロン・バートン会長にとっては、同義語であったとは驚きました。

続いて、この平和フォーラムで話されたロン・バートン会長のスピーチをRI第2680地区大室ガバナーが翻訳をされ送信していただきました。スピーチを全文掲載致します。2013-14年度ロン・バートンRI会長in広島スピーチは、ロータリアンの皆さん、この平和フォーラムでお会いできて大変嬉しく思っています。RI会長エレクトの仕事の一つに旅があります。旅ばかりで退屈だろうと思われるかもしれません。私はいつも心ときめかせています。そこには、異なった様々な仕事をしているロータリアンがいて、多くの人の人生を豊かにし、彼自身の人生も豊かにしている人と会えるからです。ロータリーにいるから、助けなければいけない人に会えるのです。そして、その人々を豊かにすることがで



きます。私達はロータリーの色々な方法で、世界を平和にする機会に恵まれます。今日は、ロータリーが与えてくれるチャンスについて語り合いましょう。私達が語り合わなければいけないことは、ロータリーのチャンス、機会についてです。ロータリーは、私達に大きな成果を上げるチャンスを与えてくれます。そして、ドアを開いてくれます。しかし、成果を求めるのなら何かをしなければいけません。ロータリーで成果を求めるなら、真剣に取り組まなければいけません。もし、あなたがロータリーで何かをすることを望むなら、あなたが人生を豊かにすることを望むなら、あなたが取り組まなければなりません。ロータリーがあなたに語りかけるものを見つけなければいけません。それが、クラブ奉仕・社会奉仕・国際奉仕、つまり、水問題、妊婦・小児の健康、あるいはポリオプラスであろうとも、あなたはそれらを見つけ、取り組まなければなりません。ロータリーは、一人のロータリアンでも様々な方法でロータリーの奉仕が出来る程、大きな組織です。世界中にロータリーのお陰で、生活を改善しつつある人がいます。学校へ行っている子供、きれいな水を飲んだり、充分な食べ物が必要な人がいます。ポリオに罹っても何百万人もの歩いている人、麻痺のない人がいます。ポールハリスがロータリーを作ったからでもなく、多くのクラブに多くのロータリアンがいるから、この人達の人生が良くなつたのではありません。ロータリアン一人ひとりが、ロータリーを通じて他の人の人生をより豊かにしようとしたからです。可能性を引き出すことに決めたからです。ロータリアンが、人々の人生を豊かにしようとしたからです。

つまるところ、どうして私達は、ここ広島に来ているのですか。私達は、何故みんなロータリーに入っているのですか。私は、長い間、ロータリアンでいました。想像を絶する時間をロータリーに割いています。それでも、ロータリーから受けた恩を充分に返せたとは思っていません。もし、私を、ロータリーに誘ってくれた人がいなかったら、もし、私が、ロータリーに係わることを支えてくれる人がいなかったら、そんな私の、人生を想像することができません。皆さんは、今日ここで、もう一段高いレベルのロータリアンになろうとしています。そして、皆さんは、今日またロータリーを知り、ロータリーを信じ、ロータリーは、何が出来るのかを知ります。そして私は、ここにいる皆さんにお願いします。ロータリーの旅では、常に前進してください。あなたのクラブでなく、あなたの地区



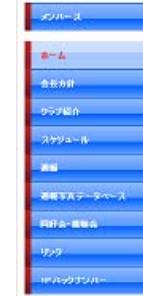
バンクーバー RC100周年記念行事 バンクーバーダウンタウンにて

でなく、あなたが何なのかを見定めてください。自分に言い聞かせてください。私は“もっと良くなれる”と。新しいプロジェクトを始めていようと、もっと多くのプロジェクトに取り組もうとしていようと、クラブで新しい仕事にかかろうと、クラ

ブのリーダーシップを發揮する役目を担おうと、あなたがもっと多くのことをロータリーで達成する一つの方法は、あなたが今以上にロータリーに真剣に取り組むことです。そして、ここに出席している人々は、すべてこのフォーラムで、ロータリーを通して私達がやろうとしていることは大切なことであることに気づくでしょう。ロータリーの奉仕活動は、人々を援助し、幸せにし、希望を与えて、そして奉仕を通して平和を築くのです。私達の一人ひとりからロータリーの奉仕活動は始まるのです。ありがとうございました。

海南東ロータリーの ホームページを活用しよう！

<http://www.kainaneast-rc.jp/>



海南東口タリーの Facebook ページ

